

歴史を訪ねて...

笠岡市の文化財

高島は、瀬戸内海国立公園であるだけでなく、古くから、島の一部の区域が、国の名勝に指定されています。島の周囲には有人・無人島が点在し、独自の景色をつくり出しています。島の最高峰で標高七十七メートルの神ト山からの景観は特にすばらしく、差出島・明地島・小高島など近隣の無人島をはじめとして、笠岡諸島はもちろんのこと、西は福山市方面、東は下津井方面、はるか南方には四国をも望むことができます。

奈良時代の歴史書である『古事記』『日本書紀』には、神武天皇が東征の途上「吉備の高島宮」に数年間滞在した、と記されています。そのため、近隣では古くから、高島宮というのはこの島のことであると考えられてきました。

高島には神武天皇にまつわる伝説が数多く残っています。高島神社は神武天皇をまつっており、明治以前には「神武皇帝宮」などと呼ばれていました。神ト山は神武天皇が吉備を占った場所と言われ、大正八年に畑中平之丞によって巨大な「高嶋行宮遺趾碑」が山頂に立てられています。山の中腹にある真名井は、神武天皇が天の神にお供えする水を汲んだ井戸と伝えられます。ただし、「吉備の高島宮」の伝説が史実かどうかは、定かではありません。



高島
(国指定名勝)

展覧会と行事のご案内

開館25周年記念

しこころ
詩心 竹喬
—竹喬美術館珠玉
の数々から
～2月3日
(後期展示)

お知らせ

年末年始は12月29日から1月3日まで休館します。1月4日(金)は入館者全員に新春のくじびきによるプレゼントがあります。また、1月4日(金)～14日(月)の間、小野竹喬デザインの着物2点を公開します。

〒714-0087
笠岡市六番町1-17
☎63-3967
ホームページ
<http://www.city.kasaoka.okayama.jp/0013/0001.html>

竹喬美術館の光彩 60



残照 (下絵)

小野竹喬 作
昭和37(1962)年
88.0×136.4cm

「私は昔ある人に、おまえは素直になれといわれたことがあるんですよ。この言葉は自分の生涯にとってひどいような貴重な言葉だったんです。私、物を見るときにくせがあったらしいですね」
(竹喬のことば)

描き方の癖ではなく、それ以前に、描く対象をみつめる眼が素直でかたよらないことが必要であるという。絵筆をとる前から、すでに作品への取り組みは始まっている。

今月の表紙

「ピンポイント！」赤いランプが点灯し、問題に正解すると、「やったー」「よっしゃー」と喜びを爆発させガッツポーズ。

11月4日、笠岡のクイズ王を決定する「クイズ王選手権」が笠岡総合体育館で開催されました。

市民を中心に約300人が参加。三人の手を重ね合い問題に集中する子どもたちの表情は真剣そのものです。応援する友達の声援にも後押しされ、一問正解するたびに大歓声が会場を包んでいました。

係から

最近めっきり寒くなってきたと思いきや、今年も残りわずかとなりました。

あのときこうしていればよかったと後悔することは多々ありますが、終わりよければ全てよし。気持ちよく新年を迎えられよう残り1カ月全力疾走したいと思えます。

(土)



土屋武之

笠原良一

発行日/平成19年12月1日
発行/笠岡市役所
編集/企画政策課
〒714-8601 笠岡市中央町1-1
☎69-2110

印刷/株国輝堂 ☎67-5111

笠岡市ホームページ: <http://www.city.kasaoka.okayama.jp>
メールアドレス: kouhou@city.kasaoka.okayama.jp



※この広報は再生紙を使用し地球環境にやさしい植物性大豆油インキで印刷しています。



古紙配合率100%の再生紙を使用しています